

グレート・イースタン・ホールディングス(GELA)

同社が業界リーダーを占めるシンガポールの生命保険は、魅力的な金融商品として世界の富裕層を引き寄せる
 シンガポール | 生命保険 | 業績フォロー

BLOOMBERG GE:SP | REUTERS GELA.SI

- 2022/12通期は、総収益が前期比36.9%減、当期利益が同29.5%減。一時的要因を除く調整後総収益は一時払い型の減少により同2.1%減。
- 生命保険事業からの新規事業企業価値は同8.9%増、税引き後保険事業営業利益は同6.6%増と、国際金融市場の動揺の中で堅調に推移。
- 同社が市場のリーダーとしての地位を占めるシンガポールの生命保険は魅力的な投資・運用商品として世界の富裕層を中心に人気がある。

What is the news?

2/22発表の2022/12通期は、総収益が前年同期比36.9%減の125.95億SGD、総費用の対総収益比率が同7.7ポイント悪化の94.5%、当期利益が同29.5%減の7.84億SGD。一時的要因の投資先売却損および公正価値変動額の影響を除く調整後総収益では同2.1%減の205.97億SGDだった。その主要な内訳2項目は以下の通り。純保険料収入は一時払い型の減少により同2.7%減の177.02億SGD、純投資利益が投資先からの配当および利息収入増加により同5.9%増の28.58億SGD。他方、費用面では、人件費削減によりマネジメントその他費用が同0.6%減の6.61億SGD、金利上昇に伴い生命保険契約負債価値の変動額が再保険者へ譲渡分も含め8.07億SGDの費用減と前期から50.10億SGD改善したものの、最終減益にとどまった。

保険会社特有の主要業績指標は以下の通り。①新規契約において一時払い保険料の1割および通常の月払い保険料を合計した「総加重新規契約保険料(TWNS)」は、前期比2.9%減の19.08億SGD。マレーシアおよび新興市場は伸びたものの、シンガポールの減少が響いた。②新規契約について長期的な収益性を測るための将来利益見積合計額の割引現在価値である「新規事業企業価値(NBEV)」は、利益率改善の寄与により同8.9%増の8.74億SGD。③保険料収入から保険給付支払額、満期支払金、解約支払金、およびその他諸費用を控除し、配当や利息など投資利益を加えた「税引き後保険事業営業利益」は、同6.6%増の7.97億SGD。④資産・負債の公正価値変動額や投資売却損益など一時的要因による「税引き後保険事業営業外利益」は、同79.1%減の61百万SGDだった。

How do we view this?

2022年度における国際金融市場の動揺にかかわらず、生命保険事業からの「NBEV」および「税引き後保険事業営業利益」が堅調に推移。同社事業の長期的かつ持続的・安定的な成長可能性の高さが示された。

シンガポールの生命保険は、返戻金の払込み保険料総額に対する比率(返礼率)が高い。終身保険などで会社が利回りを保証する「保証利回り」および運用成績によって伸びる「非保証利回り」といった二段構えもあり、世界の富裕層を中心に投資・運用目的で好評を博している。世界有数の国際金融センターとしてシンガポールへの評価が高まることは、シンガポール生命保険市場を主導する同社の成長を後押ししよう。

業績推移

※参考レート 1SGD=100.33円

事業年度	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12F	2024/12F
総収益(百万SGD)	21,463	19,964	12,595	-	-
当期利益(百万SGD)	960	1,113	784	-	-
EPS(SGD)	2.03	2.35	1.66	-	-
PER(倍)	8.75	7.56	10.70	-	-
BPS(SGD)	19.78	21.19	19.93	-	-
PBR(倍)	0.90	0.84	0.89	-	-
配当(SGD)	0.60	0.60	0.65	-	-
配当利回り(%)	3.38	3.38	3.66	-	-

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) - (予想はBloomberg)
 終値(SGD) 17.77 2023/4/11

会社概要

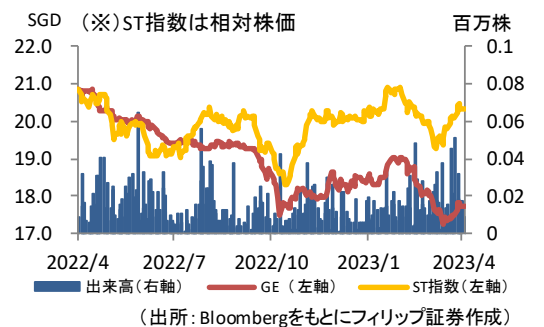
1908年設立の生命保険会社で、主にシンガポールとマレーシアで信頼されたブランドとして業界リーダーの地位を占める。1000億SGD以上の資産を保有し、1450万人以上の生命保険契約者(内、1200万人以上の政府スキーム保険を含む)に対して保険ソリューションを提供する。

同社は、提携代理店、銀行窓販、および金融アドバイザリー子会社(グレート・イースタン・フィナンシャル・アドバイザーズ)の3つの販売チャネルを通じて事業を展開。インドネシアやブルネイでも営業している。資産運用子会社のライオン・グローバル・インベスターズは、最大の民間セクターの1つである。

同社はシンガポールで最も長い歴史を持つ銀行のオーバーシー・チャイニーズ銀行(OCBC)の子会社である。OCBCは東南アジアで2番目に大きい資産規模の金融サービスグループであり、Moody'sからAa1を、FitchとS&PからAA-の格付けを得ている世界で最も格付けの高い銀行の一つである。

企業データ(2023/4/12)

ベータ値	0.68
時価総額(百万SGD)	8,430
企業価値=EV(百万SGD)	-
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	0.3



主要株主(2023/4)

1.オーバーシー・チャイニーズ銀行	87.89
2.三菱UFJフィナンシャル・グループ	0.11
3.HARBOR CAPITAL ADVISORS INC	0.06

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。